

財政緊縮の爲道路工事を中止又は 繰延するの可否

財政緊縮の爲め、道路工事中止又は繰延を爲すの可否に就ては唯遺憾と申すの外なく、目下財界は危期に瀕し如何なる犠牲を拂ふも國運の挽回に努力すべき時節と信じ申候、但し前陳の通り朝鮮農民の狀態に就ては、内地政府も國民も十二分の考慮を拂はれ嗟膺の遺恨事を現出せざる様豫算編成上に御注意あらむことを衷心希望する次第に御坐候。

地方財政と道路問題

以上の通り朝鮮の道路問題は、一日も忽緒に附すべからざるものに有之候得共、朝鮮自からの財力を以てしては其實現覺束なく、況んや朝鮮の地方的力を以てしては、百年尙ほ舊態を改むる能はざるものと存候、故に地方官廳は總督府に補助を仰ぎ總督府は、更に中央政府に補助を求めざる可らざる部分不尠候、即ち朝鮮の道路は地方的たると國際的たるを問はず、其實現は中央政府の意の儘にして朝鮮の地方的財政と結び付けて研究すべき餘地は寧ろ小部分に止まり可申候。

北海道農會長 南 鷹 次 郎

農村救済策と道路問題

道路と農村の救済との關係は之を二方面より見るを得べし一は道路工事により農業者に業を授けて賃銀を得せしめ以て其の經濟を裕ならしむることなり、本道に於ては大正二年の大凶作の際農民は食に乏しく遂に種粃をも食ひ盡せるが當時當局が此の窮迫を救済せんとして施したる重なるものは道路工事なりき、本道は國庫より借款して爲めに七十萬圓の道債を起したりと雖も農民は之に依りて饑餓を免がるゝを得此と同時に道路は改善せられて翌年よりは物資の運搬に大なる便宜を得農民の喜びと感謝とは凶作の災を償ふて優に餘りあり洵に好箇の救済事業たりしなり、凡そ天災地變に際し金銀糧食を無報酬的に與へて之を賑恤するは、徒に徒食を教ゆるに等しく弊害ありて利益少なし宜しく業を授けて報酬を與へ以て勤勉努力の精神を涵養せざるべからず而して農民救済は、恐くは道路工事の右に出づるものあらざるべし。

他の一方面は、永久策として生産費の減少是れなり抑も現今の農業者は自給自足のみにて完全に生活する能はずならずや

多少の販賣作物を栽培して之を賣り以て衣服什器農具及其他の資本を購はざるべからず之が爲には可成多くの利潤を擧ぐるの要あり直接生産費は暫く措き生産補助費の一たる運搬費のみに就て考ふるも道路の良否は莫大なる差異を生ずるものなり米國にては其の差は大體に於て三と一との比なりと云へり、本道農村に於ては雨多き秋期は運搬最も多き時期にて交通閑散なる夏期に比し道路の惡變は反比例を呈し泥濘車軸を没するに至り、運搬力は夏期の三分の一にも及ばず、此は開拓五十年を關する我札幌附近に於けることなり、況んや新開の山奥に於ては最寄りの市場まで數里又は十數里の間一回も礫砂を入れたることなき道路にて、乾燥時期に於ても人馬共に力を盡して一日又は二日を要せざれば到達する能はざるは普通のことなり、項目札幌郡内札幌を去る數里の地に於て燕麥十俵を一里の地に運搬するに四人にて一馬車に積み二日を要したりと、其の間の苦心努力實に想像に餘りあり、此の如きは固より稀有の事例なるべきも普通の場合に於ても運搬に要する經費と勞銀とを計算せば、生産物を販賣するは却つて損失を招く所以なり、是を以て農民は道路の良好なる地方に轉住し農村は道路に沿ふて文化し行く有様なり我農村に於ける開拓の不振、耕作地の荒廢の原因の一は、正に茲に存すと

云ふも敢て不可なからん、近時本道に於て種菜の耕作を獎勵しつゝ、あるも、其の最も難事とする所は生産物たる根莖が重量巨大なる爲め運搬困難なること是れなり、良品の生産を得らるべきは明瞭なるも道路劣惡なる爲め遂に折角の産業の勃興を阻止するに至らんとする有様なるは誠に遺憾の至りなり、産業政策上道路は其の關係すること實に大なりと云ふべし、本道開墾土地の荒廢するは他の多くの原因あるべきは言を俟たざれども、道路との關係を考慮せず徒に延長するを以て能事とせるも與つて力ありと云ふべし、寧ろ之が完全を期し、移民を入地せしむるには數里の奥に一戸又は二戸の農家が點在するが如きをなさず順序に村落を作り之を單位として開拓を進むるを可なりとす、本道は初より疎居制を採りしが種々の點に於て不便多く當面の問題たる道路の關係よりするも之を密居制に改むるを可とすべし。

小運送と道路問題

本道物産を大都市に移出するに當り運搬費は最も考慮を要する點なり、今東京に出荷する實狀を見るに着荷驛より市内需用者に達する小運搬費は本道より東京に達する費用以上にして、更に生産者が最寄驛に運ぶ經費に至りては其の數倍に

上る有様なり、是れ幾分は運搬機關の不備に關係すれども道路の不良は其の重なる原因なり、函館市に於て項日道路を改良せる結果運搬用馬匹は値高き重種の需用頓に止み中間種以下となり運搬者の利益は勿論其の運搬費を減するに至りたりと云ふ。

近時農村共同事業の必要は日に益々痛切を加へ農家の老若共同作業場を集り大機械又は大設備を用ひて事業を共にするに至らんとするは洵に喜ぶべき現象なり、然るに之に對し大なる支障は道路にあり特に我北海道に於ては隣家相距ること數百間にして其間道路泥濘歩行甚だ難く爲めに道路によらずして田畑の一部を歩み下駄足駄を用ゆる能はざる程にて作業材料及産物の運搬に至りては大なる勞力と經費とを要し不便不利多きを以て共同企業を行ふ能はず徒に舊習を墨守して時勢に逆行し家庭の業に止まらんとするは頗る遺憾とする所なり、此の他農村の振興策として行ふべきもの多しと雖も多くは道路交通の不便なる爲め遂に挫折すること少からず。

財政緊縮の爲め道路工事を中止

又は繰延するの可否

今日の財政は數年前に於ける戰時好況時代の膨脹の情勢尙

ほ殘存する物なれば之を緊縮せざるべからざるは勿論にして之が實行には先づ冗費及不急の經費を節約するを要すべし而して道路は人或は不急のものと思ふべきも蓋し大に考慮せざるべからざる大問題なり、即ち如何なる年柄にても道路の必要を減すべき理由なく寧ろ産物の生産費を減じて其價を低廉にし以て國民を益々文化的生活に赴かしめざるべからず、財政の緊縮は決して文明の退嬰を要求するものにあらず、此點より見て道路は國產の基礎を爲すものにして生産費の永久的輕減の根本なりとす、而して之が建設改修に至りては斯る不況の年柄に於て一方勞働者の救濟の爲め、又一方生産補助の爲めに、又一面には文化の向上の上に、更に又他面に於ては將來來るべき好況時に對する潛勢力たる運搬力の充實を期する上に於て、進んで行ふべきことにして之を中止繰延するが如きは正に國家を去勢するに等しく百年の長計上看過すべからざることなり。

地方財政と道路問題

地方費の分配率は従前は土木、勸業、教育の順位にて土木は五割以上を占めたりしが、現今は教育、勸業、土木となり而も土木費は地方費の約一割となり經費分配上甚だ不均衡な

りと云ふべし。近年義務教育費の負擔を軽減する爲め國庫補助の支出要望の聲大なるは固より當然のことにて、之れを軽減して初めて生産的實業費を捻出するを得べく道路問題解決上より見るも一日も速に義務教育費國庫支辨を行ふと共に之を勸業土木に分配せられんことを望むものなり。

以上大體に於て貴問に答へたるが尙ほ少しく希望の點を附言せんとす。

道路は國家の動脈にして其の不良なるは心臟血管の不良なるに等しく運行不敏となり荷物の輸送行はれ難く従つて活動の熱源たる物資停頓して活力盡き活潑なる活躍を見ざることも顔色憔悴形容枯渴せる心臟病者と一般にして唯徒に自滅を待つのみ「惡路は身を食ふ」とは蓋し至言と云ふべし、終りに臨んで余は道路策として次の事項を希望せんとす。

- 一、道路工事に對し國庫及地方費の支出を増額し尙ほ民間の工業に對し補助を厚くすること
- 二、民間に改良維持の組合を設けしむべく懲懲宣傳に力むること
- 三、材料及其の運搬に對しては國家も地方も出來得るだけ補助と援助とを與ふること
- 四、道路工事に對し國庫及地方費の支出を増額し尙ほ民間の工業に對し補助を厚くすること

路の開鑿改修を促進すること

交通規則の改正

事故續出に鑑み警視廳の防止策

最近目立つて夥しくなつて來た交通事故の防止策として、豫て懸案中であつた交通規則の改正は、警視廳交通課で之が改正草案を起草中であつたが、最近漸く脱稿したるを以て、各署の交通主任と交通巡查一名を警視廳に召集し五十三ヶ條よりなる改正規則草案を示して逐條協議を遂げた。其の主なるものは左の通である

- 一 自動車運轉手の示す進行、停止、方向の信號を一定すること
 - 二 車道を緩行車馬道と疾行車馬道の二つに區分すること
 - 三 疾行車馬以外のものは電車軌道敷内に入らぬこと
 - 四 同種の車馬が無暗に追ひ越さぬこと
 - 五 交叉點で停止の信號の際、停止の仕方を一定すること及駐車位置を一定すること
 - 六 道路に對する鐵管瓦斯等の埋設工事（道路工事以外の）の方法に一定の制限を附すること
 - 七 小學兒童の遠足等に一定の人員を一隊に作り指導者をして一定の區間を開くこと等
- 因みに新交通規則は其の適用範圍擴大に互るを以て、府及市當局にも篤と諒解を求あたる上發布する運びである。